

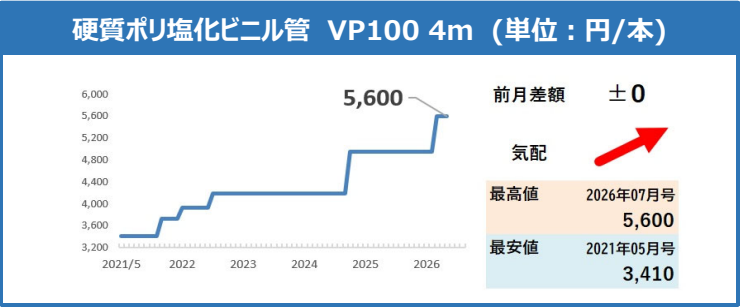
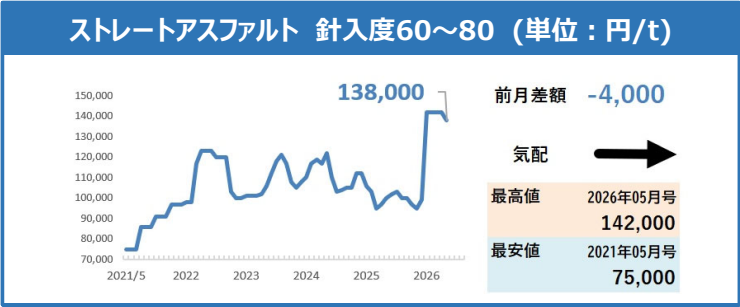
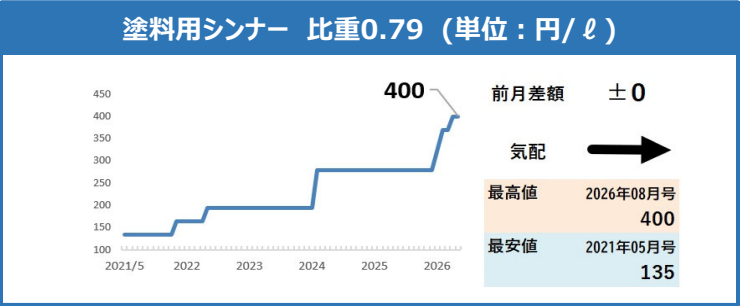
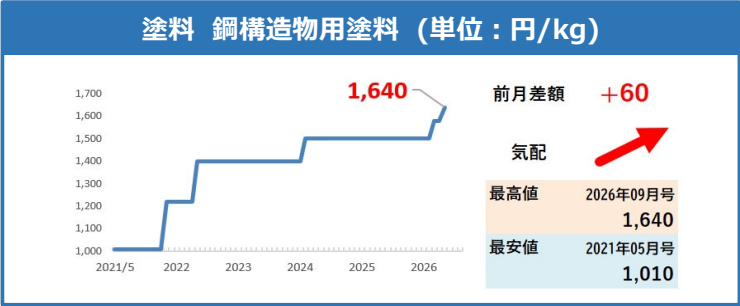
中東情勢緊迫化に伴う建設資材価格・需給動向（調査レポート）

— 中東情勢の影響が懸念される主な建設資材 — ※月刊『建設物価』2026年9月号 東京 ホルムズ海峡の海上輸送リスク・原油価格上昇を背景に、石油系原料依存度の高い資材で影響が顕在化

2026年8月上旬調べ

品名	規格	単位	価格動向			需給動向		原料系統	概況(要点)	掲載ページ
			価格	前月比	気配	現在	見通し			
塗料	鋼構造物用塗料 (変性エポキシ樹脂 下塗り塗料)	kg	1,640	上伸	強基調	ひっ迫	ひっ迫	ナフサ	一部製品では受注制限が解消しつつあるが、下塗り塗料等では需給ひっ迫が続く。納期には時間を要する状況。価格はメーカーが打ち出した値上げが段階的に浸透。先行き、強基調の公算が大きい。	197
塗料用シンナー	比重0.79	ℓ	400	横ばい	横ばい	ややひっ迫	均衡	ナフサ	政府の原料供給拡大でシンナーの流通はほぼ通常水準まで回復し、受注再開も進む。数量制限・納期遅れの制約も解消に向かう。価格は中東情勢緊迫化前と比べ大幅に上伸し、当面は高止まりが続く見込み。	199
ストレートアスファルト	針入度60～80 ローリー	t	138,000	下落	横ばい	均衡	均衡	原油	供給は前年度実績水準をおおむね維持し需給は均衡。石油元売各社の仕切価格は緊迫化時の高値調達分等で高止まりしていたが、原油価格の下落を受けてこれを引き下げ、市況は下落に転じた。	219
防水材	防水工事用 アスファルト3種 針入度20～40 (25kg袋)	t	259,000	横ばい	強含み	ややひっ迫	ややひっ迫	アスファルト	各社の受注再開で当初の混乱は峠を越え、流通は正常化に向かっており供給は改善傾向にある。一方、5月以降の大幅な価格改定の影響は続き、今後の追加改定の可能性にも留意が必要。	456
シーリング材	変成シリコン系 シーリング2成分形 耐久性9030 JIS A 5758	ℓ	1,310	横ばい	強含み	ややひっ迫	ややひっ迫	ナフサ	主要各社の受注再開や出荷調整により需給のひっ迫感は緩和傾向にあるが、一部の製品では出荷制限や品種の絞り込みが継続している。価格は原材料高を背景に強含みで推移している。	458
建築用断熱材	押出法ポリスチレン フォーム1種bC 30×910×1820	枚	1,680	横ばい	横ばい	ややひっ迫	ややひっ迫	ナフサ	受注再開の動きで需給は改善傾向にあるが、出荷制限や品種の絞り込みは一部で継続。価格は中東情勢緊迫化前と比べ大幅に上伸し、当面は高止まりが続く見込み。	516
硬質ポリ塩化ビニル管	VP100 4m	本	5,600	横ばい	強含み	ややひっ迫	ややひっ迫	ナフサ	ナフサ供給の正常化や代替調達の進展で生産面の制約が改善し、ひっ迫感が緩和の兆し。一方で追加の価格改定が相次ぎ、先行きも強含みで推移する見通し。なお、塩ビ管用接着剤は依然として品薄の状態。	688

◆ 主要品目 価格推移グラフ



【価格】赤字：前月比上伸 黒字：前月比変わらず 青字：前月比下落

【前月差額】2026年9月号(東京)と2026年8月号(東京)を比較

【気配】2026年9月号(東京)時点での価格見通し

【最高値・最安値】2021年5月号以降の最高値と最安値を表示。なお、最高値、最安値の表示月号はその価格を最初に記録した月号を表示

お問い合わせはホームページの掲載内容、その他に関するお問い合わせからお願いします

問い合わせ先：一般財団法人 建設物価調査会 調査統括部